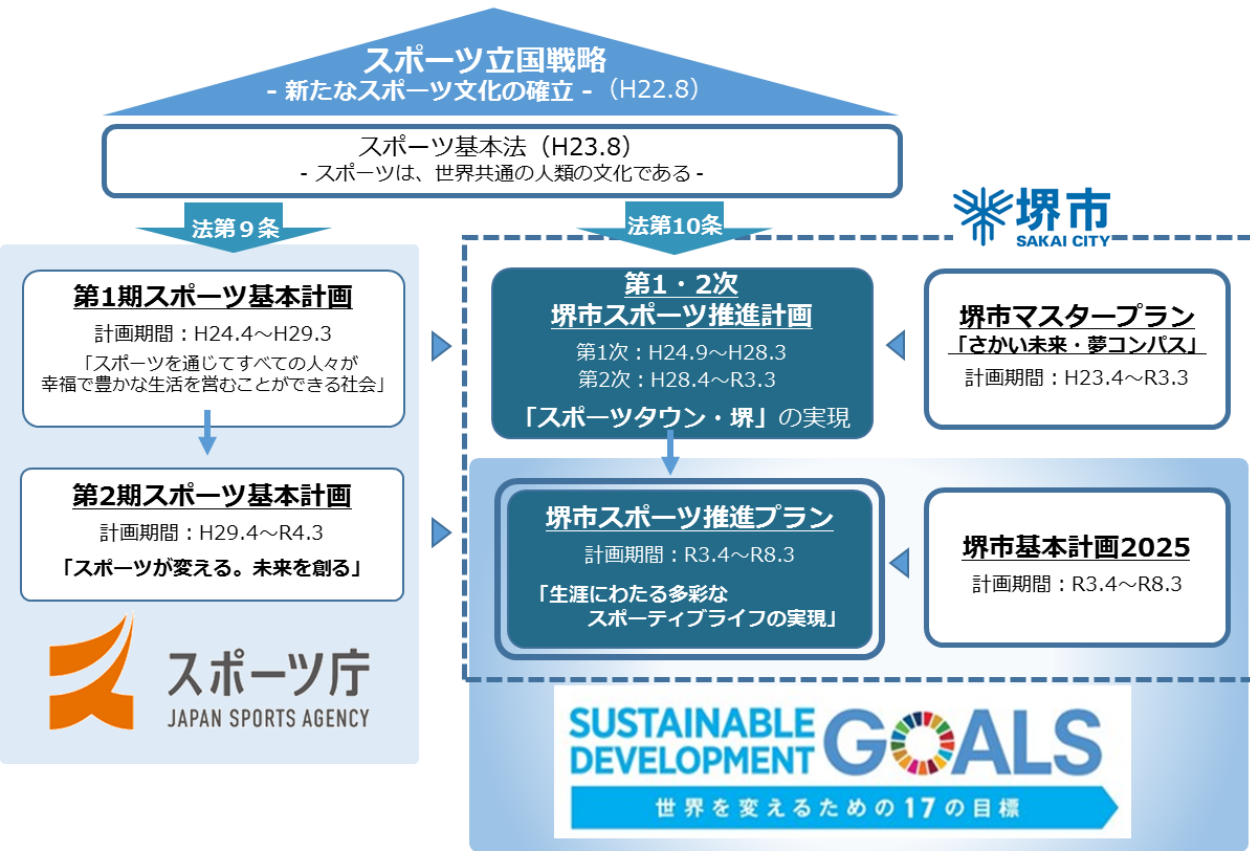
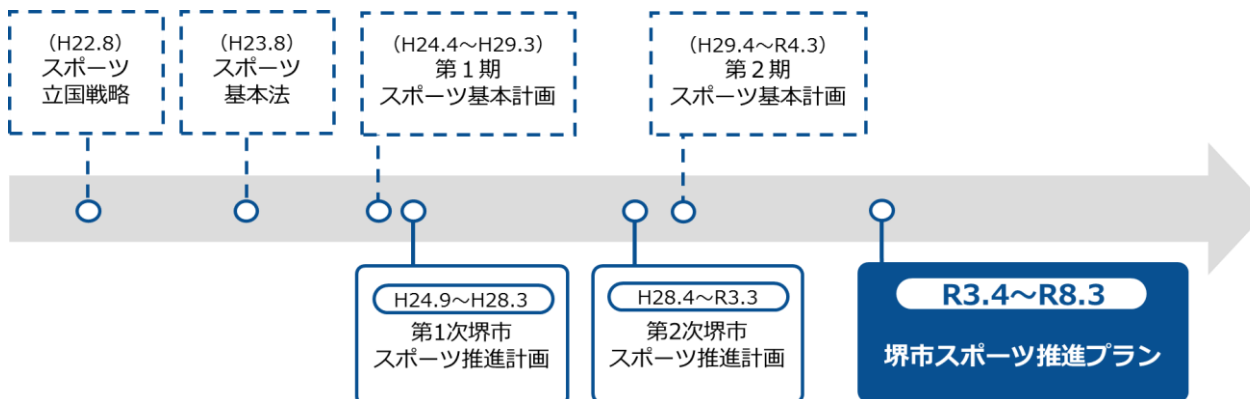


1 位置付け



2 計画期間

令和3年4月～令和8年3月末



3 堺市が誇るスポーツ資源

I 大規模スポーツ施設

① J-GREEN堺

育成世代から各国代表チームまで、幅広い世代やレベルの競技者に利用される日本最大級のサッカーを中心としたスポーツ施設。

② くら寿司スタジアム堺

南大阪最大規模となる本格的な野球場。夏の高校野球大阪大会やプロ野球2軍戦など、レベルの高い試合の観戦が可能な施設。

③ 大浜体育館・大浜武道館

トップレベルのスポーツ観戦が可能となるアリーナや武道の振興拠点となる武道館を備えた大規模スポーツ施設（令和3年4月リニューアルオープン）。

II スポーツイベント

① 堺市民オリンピック

昭和50年から毎年開催。約1万人の市民が参加し、スポーツを通じた地域交流が図られる本市最大のスポーツイベント。

② 全国学生相撲選手権大会

大正8年に、第1回目の学生相撲選手権大会が開催された大浜公園相撲場は「学生相撲発祥の地」としての歴史をもち、現在も全国大会等を開催。

③ ツアー・オブ・ジャパン

日本最大級の自転車の国際ステージレースである「ツアー・オブ・ジャパン」は、本市をオープニングステージとして平成8年から開催。

III スポーツ団体/機関

① トップレベルチーム

市民に愛されているバレーボールの「堺ブレイザーズ」やサッカーの「セレッソ大阪」・「セレッソ大阪堺レディース」、野球の「オリックス・バファローズ」と連携。

② JFAアカデミー堺

J-GREEN堺を拠点に、日本サッカー協会（JFA）が将来のなでしこジャパンで活躍する選手の育成、世界基準の人材育成をめざすためのエリートプログラムを実施。

4 スポーツ推進に向けた課題

課題1 スポーツへの関心向上

小学生は運動時間が短く、中学生は運動する生徒と運動をしない生徒が二極化している。また、ビジネスパーソン、子育て世代のスポーツ活動は他の世代に比べて少ない。

課題2 身近に行える地域スポーツ活動の充実

本市における総合型地域スポーツクラブの数は3クラブであり、総合型地域スポーツクラブや地域におけるスポーツ活動の仕組みが他の政令指定都市と比べて少ない。

課題3 大規模スポーツ施設の有効活用

「くら寿司スタジアム堺」や「大浜体育館・大浜武道館」の整備により、J-GREEN堺を含めた大規模スポーツ施設の有効活用が求められる。

5 基本理念/基本方針/施策推進/目標指標

基本理念

生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現
～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～

基本方針 1 スポーツ・運動習慣の充実

施策 1 スポーツ・運動習慣定着による健康増進

- 主な取組
- ICTを活用したウォーキング、ランニング、サイクリングの推進
 - 指導者派遣による運動部活動の支援
 - 家族で参加できるスポーツイベントの開催
 - 高齢者のニーズに応じたスポーツ教室の開催

施策 2 気軽にできるスポーツの機会創出

- 主な取組
- 安全・安心に利用できる施設の維持管理
 - スポーツイベントや施設情報等の発信強化
 - 総合型地域スポーツクラブの創設
 - 地域の大学や民間企業との連携強化



施策 3 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進

- 主な取組
- 障害者スポーツ大会等への参加支援
 - スポーツ指導者への多様性の理解促進
 - ニュースポーツの普及促進
 - リモートでつながる新しい観戦スタイルの促進



目標



スポーツ・運動習慣者割合

(1回30分以上の運動を週2回以上行う者) ※

(平成29年度)

(令和7年度)

23.7% ▶ 50.0%

※1日に複数回に分けて合計30分以上の運動を週2回以上している場合も含む。
スポーツや運動を日常的に親しんでいる人を増やす目標指標として設定
基準年度 (H29) と比べ26.3ポイント増

基本方針 2 堺のスポーツ魅力の創出

施策 1 特色ある大規模スポーツ施設の活用

- 主な取組
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック」によるスポーツ機運の醸成
 - 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」(サッカー・フットサル種目)の開催
 - 武道の全国大会等の開催

施策 2 堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化

- 主な取組
- 堺ブレイザーズのホームゲーム開催(大浜体育館)
 - 民間のスポーツ情報サイトを活用したホームタウンの情報発信
 - 部活動やのびのびルームへのスポーツ指導者派遣



©Blazers sports club

施策 3 世界で活躍する次世代人材の育成

- 主な取組
- JFAアカデミー堺と連携した人材育成
 - トップアスリートによる子ども向けスポーツ教室の開催
 - スポーツ少年団活動の充実



©CEREZO OSAKA SPORTS CLUB

目標



市内体育館等スポーツ施設利用者数

(令和3年度～令和7年度)

5年間累計 100万人増

堺のスポーツ魅力の創出によりスポーツの実施や観戦を行う人を増やす目標指標として設定
平成27年度から令和元年度の5年間の実績15,855,528人。